



いわて

議会だより

2011.03

19

Contents

- 2 第4回市議会定例会、一般質問
- 15 委員会報告
- 18 3月議会の本会議開催予定日 フォトギャラリー

発行：岩出市議会
〒649-6292 岩出市西野209
編集：議会広報常任委員会
TEL 0736-61-6947
E-mail gikai@city.iwade.lg.jp

平成22年第2回臨時会 及び 第4回定例会

案 件 名	結 果	賛否 ○…賛成 ×…反対 —…賛否に加わっていない																					
		公明党 議員団					日本共産 党議員団	岩出クラブ		民主いわで			ネット 岩出										
		田 畑 昭二	玉 田 隆紀	宮 本 要代	市 来 利恵	増 田 浩二	上 野 耕志	福 山 晴美	田 村 耕一	山 本 重信	土 岐 健二	松 下 元	三 栖 慎 太 郎	田 中 宏幸	井 神 慶久	吉 本 勸曜	山 下 久 美子	尾 和 弘					
職員の給与に関する条例等の一部改正	可 決	○	○	○	×	×	議 長 の た め、 賛 否 に 加 わ る こ と が 出 来 な い。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×					
市長及び副市長の給料その他の給与条例の一部改正	可 決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—				
教育長の給料その他の給与条例の一部改正	可 決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—				
岩出市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正	可 決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—				
平成21年度岩出市一般会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	×	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×				
平成21年度岩出市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	×	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×				
平成21年度岩出市老人保健特別会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
平成21年度岩出市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	×	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×				
平成21年度岩出市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	×	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×				
平成21年度岩出市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
平成21年度岩出市墓園事業特別会計歳入歳出決算認定	認 定	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
平成21年度岩出市水道事業会計収入支出決算認定	認 定	○	○	○	×	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×				
第2次岩出市基本構想の策定	可 決	○	○	○	×	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—				
平成22年度岩出市一般会計補正予算（第3号）	可 決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—				
平成22年度岩出市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可 決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—				
平成22年度岩出市老人保健特別会計補正予算（第2号）	可 決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—				
平成22年度岩出市介護保険特別会計補正予算（第3号）	可 決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—				
平成22年度岩出市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可 決	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—				
平成22年度岩出市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可 決	○	○	○	×	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
平成22年度岩出市水道事業会計補正予算（第2号）	可 決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
市道路線の認定	認 定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
和歌山県市町村総合事務組合規約の変更に関する協議	可 決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
岩出市教育委員会委員の任命	同 意	投 票						に よ り 同 意															

一 般 質 問

宮 本 要 代 議員 3頁

- ◎認知症サポーター養成講座について
- ◎病児預かり対応保育スタッフ養成講座について
- ◎新生児訪問について

田 中 宏 幸 議員 4頁

- ◎歩道と街路灯について
- ◎さぎのせ公園について

山 本 重 信 議員 5頁

- ◎教育制度について
- ◎この冬の疾病対策について
- ◎高齢者問題について

土 岐 健 二 議員 6頁

- ◎岩出市の22年度を振り返って

吉 本 勸 曜 議員 7頁

- ◎一連の職員の不祥事に対する総括と市当局の見解について

尾 和 弘 一 議員 8頁

- ◎入札妨害及び賄賂事件、入札改革について
- ◎公共下水道接続と汲み取り等について
- ◎安全・安心への取り組みについて
- ◎岩出市名簿奨励条例の制定について
- ◎市立図書館について

※質問者本人が質問及び答弁の要点をまとめ、
提出のあったものを各議員の責任のもとに掲載しました。
※内容等については質問者にお問い合わせください。

玉 田 隆 紀 議員 9頁

- ◎安全対策について
- ◎地域振興と子育て支援について

松 下 元 議員 10頁

- ◎ごみ減量化と有料化について

増 田 浩 二 議員 11頁

- ◎公民館施設の整備と障がい者などへの貸出し利用の改善について
- ◎市独自の生活福祉資金制度の創設について
- ◎地元企業の育成対策と地域活性化について

市 来 利 恵 議員 12頁

- ◎那賀老人福祉施設白水園について
- ◎例外なしの関税撤廃を前提とするTPP（環太平洋経済連携協定）について

田 畑 昭 二 議員 13頁

- ◎うつ病対策について
- ◎ゴミの有料化について
- ◎浄化槽の管理について
- ◎ボランティア活動の推進について

福 山 晴 美 議員 14頁

- ◎生徒の通学路の安全確保について



宮本 要代 議員
(公明党議員団)

○ 認知症サポーター養成講座について ○ 病児預かり対応保育スタッフ養成講座について ○ 新生児訪問について

認知症サポーター 養成講座について

質問

・ 認知症を正しく理解し認知症の人やその家族を見守り、支援する認知症サポーターの養成講座開催の予定・推進について。

答弁

・ 来年度以降も講座を開催し、認知症サポーターを増やしていく。
・ 一般公募は、広報等で周知を図り、だれもが気軽に参加できる講座を目指す。



質問

・ 認知症サポーターの存在を広めていく。
・ 老人クラブや区自治会役員等を対象にした講座を実施する。

答弁

・ 認知症の理解や人権意識の向上・いじめ撲滅の素地を養うためにも小・中学校で認知症サポーター養成講座を開催してはどうか。

・ 学校での外部人材の活用は、地域との交流を図る意義があり、情報提供していく。

病児預かり対応保育 スタッフ養成講座に ついて

質問

① 病児・病後児預かり対応保育の開始や内容の周知をどうするのか。
② 病児緊急預かり対応基盤整備事業が終了した

答弁

場合の、代替案及び対応の考えについて。

① 病児・病後児預かり保育は、サービス提供会員と利用会員の相互援助方式である。

利用会員の子どもが病気や病後児の預かり等、サービス提供会員がサポートを行う。

現時点では、サービス提供会員が少数であり広く周知するまでの環境が整っていない。

② 平成26年度までにファミリー・サポート・センター事業を実施するという目標年次を定めている。

新生児訪問につ いて

質問

① 保健師や助産師による新生児訪問指導事業で未訪問に対しての問題点や課題について。

答弁

② 絵本を手渡すブックスタート事業の開始について。

① 長期入院や里帰りで訪問が不可能な場合や、心配や相談とがないからと訪問を拒否され乳児や家庭の状況が把握できない。

民生委員や母子保健推進委員などの協力体制を構築し、状況把握が図れるようにすることが課題である。

② 4ヶ月児検診時に絵本を手渡すブックスタート事業を開始できるような計画を進めている。

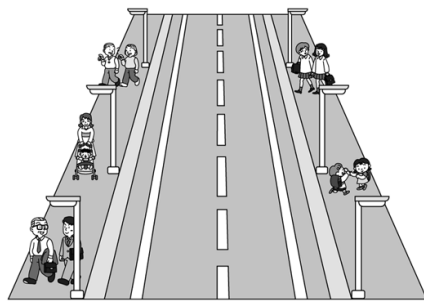




田中 宏幸 議員
(ネット岩出)

質問 農免道路の歩道設置について東山・下中島線の交差点から住吉川までの区間で重点的に取り組むとのことですが、現在の進捗状況は。

他の道路の歩道設置について、どのように位置づけられているのか。また、夜間の安全確保のため、街路灯の設置は不可欠であると考えます。各路線の工事も進んでおりますが、その進捗率について。



答弁 歩道の進捗状況について、平成23年1月末に詳細設計

及び用地測量が完了し、その後、土地所有者の方々に御協力を得ながら用地買収を進めてまいりたいと考えています。

他の道路の歩道設置について、車道が2車線でセンターラインのある市道や通学路で交通量が多く、児童・生徒の安全確保が必要な路線に、設置が必要であると考えています。

街路灯の設置については、実施計画に基づき設置してまいります。

街路灯の設置数

市 道	計画基数	設置済数	進捗率
岩出駅－宮線	29基	26基	89.9%
相谷－中島線	52基	14基	26.9%
野上野－清水線	40基	10基	25.0%

質問 今年4月に供用開始となるさぎのせ公園の現在の進捗状況と整備の詳細について。

防犯対策には、防犯カメラの設置が必要であると先の議会で質問させていただきましたが、どのように検討されたのか。

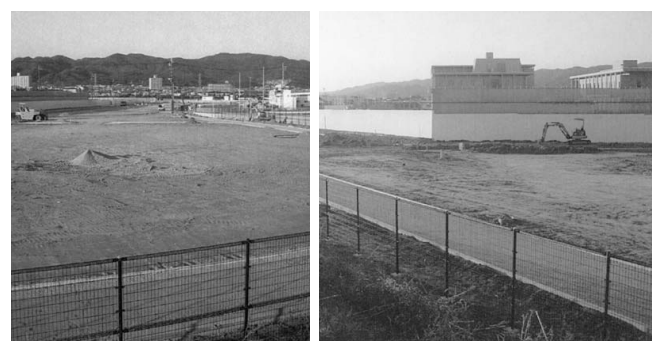
答弁 さぎのせ公園の進捗状況につ

きましては、基本施設整備工事を行い、順次、舗装植栽工事、電気施設工事、遊具サービス施設工事、建築施設工事に分けて発注を行いました。整備の詳細につきましては、7つのエリアを設けまして、それぞれテーマを持たせて整備を進めております。

子どもの広場には、市の鳥ウグイスをモチーフにした複合遊具を設置し、市の木ウバメガシをモチーフにして、「そうへいちゃん」の「せ」をイメージした公園のシンボルとなる大型複合遊具とふわふわ

ドームを設置いたします。防犯対策として、公園に防犯カメラを設置することといたしました。

設置場所については公園の死角となる場所を考えております。カメラの設置において、プライバシーに関する問題もありますが犯罪を未然に防ぐため、公園利用者の方々に理解を求め皆様に安心してご利用頂ける公園として整備してまいります。





山本 重信 議員
(民主いわで)

教育基本法改正

ジュニア駅伝優勝は？

質問

世界に教育の面で目を向けますと、15歳を対象とした国際学力調査によれば、日本は読解力では8位・科学応用力では5位・数学的応用力では10位です。

すべてに一位なのが中国の上海です。(立派)

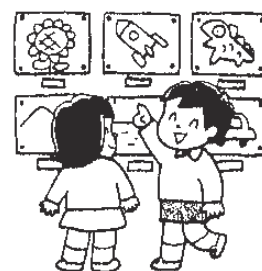
日本では昭和22年制定された、教育基本法全部が今回改正されました。

ゆとり教育の知・徳・体に加え、今回、新たに思考力・判断力・表現力が加えられ、個性を生かす教育の充実を図るとうたわれています。学校では様々な取り組みが実施されています。

学力と同時に大切なのは体育ではないでしょうか。全員で取り組んだチームとしての達成感は忘れられないものだと思います。これらの出来事により、こども達に郷土愛が芽生える事と確信しています。教育長の考えは。

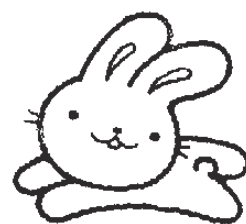
7項目の学習指導要領の方向性

1. 改正教育基本法を踏まえた学習指導要領改定
2. 生きる力と理念の共有
3. 基礎的、基本的な知識、技能の習得
4. 思考力、判断力、表現力の育成
5. 確かな学力を確立するために必要な授業時間の確保
6. 学習意欲の向上や学習習慣の確立
7. 豊かな心やすこやかな体を育成するための指導の充実



具体的には

1. 言語活動の充実
2. 理数教育の充実
3. 伝統や文化に関する教育の充実
4. 道德教育の充実
5. 体験活動の充実
6. 小学校外国語活動の実施



答弁

中央教育審議会答申で7項目の学習指導要領が示されました。

小学校では平成23年、中学校では平成24年より完全実施となります。

新学習指導要領では、学力の重要な要素として3項目課題を掲げ、具体的な指導要領として7項目が提示されました。この基盤のもとに思考力・判断力・表現力を加味し、豊かな心とたくましい体を併せ持つ教育活動に努めてまいります。

4月より子ども達が運動を通じて体力向上と、心身の健全育成を目的にアスリートクラブを立ち上げ、順調に推移しています。質問のジュニア駅伝では岩出市内の小中学生全体で取り組んでいます。

結果として、第1回桃源郷駅伝大会が実施され、男子の部で岩出市の小学校が優勝、女子の部で3位と大健闘。

平成22年度を振り返って、 執行部全員自身の思いを語る!



土岐 健二 議員
(民主いわで)

(質 問)

平成22年を振り返って、みなさん良い年で在りましたか。

市長をはじめ執行部全員に良いこと、反省すべきことなども含めて、ご自身の考えを伺う。

(答 弁 市 長)

残念な事は、元職員、現職員の不祥事であり、市民の皆さんにご迷惑、ご心配をおかけしました。

良かった事は、国に対しては京奈和紀北西道路の整備促進について、県に対しては、多数の議員とともに、県事業の推進4事業の支援を要望したことです。

結果、補正において一億五千万円をいただきました。今回のように執行部と議会が一体となつての要望活動は初めての試みで、大きな効果が得られたこと。「大変な一年であつた」ことは確かです。



(答 弁 副市長)

市長と同様、元職員、現職員の不祥事でありま

す。
立場上、私の管理監督が不十分であり、大いに反省するとともにいろいろ考えさせられる一年でありました。

(答 弁 総務部長)

不祥事再発防止に向け、職員の倫理及び法令遵守意識の徹底、維持、向上に向けた諸施策を進め、また、入札制度の改革にも取り組み、さらによりよい制度にしていくことをはじめ、市民の信頼回復に努めます。

(答 弁 生活福祉部長)

生活福祉部の職員は、それぞれのポストで最善の取り組みを行つていま

す。
その意味で職員には感謝していますが、まだまだ課題は山積で、振り返り感激に浸ることなく、今以上に努力してまいります。

(答 弁 事業部長)

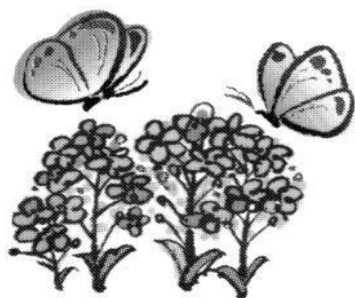
年度当初は業務の課題などの報告が遅れ、対応に苦慮しましたが、今は改善されていると感じて

いる。
市職員として、仕事を進める中で直接市民との関わることの違いなど痛感し、反省点が多くありました。

(答 弁 教育長)

学校職員が丸となつて取り組むことにより、子どもたちの教育姿勢が変わつてきますので、このことを大事にしていきたいと思ひます。

まだまだ反省するところはあります。



総務部	6 課
生活福祉部	4 課
事業部	4 課
上下水道局	2 課
教育部	2 課

からの担当課長の答弁がありました。



吉本 勲曜 議員
(ネット岩出)

一連の不祥事

総括と再発防止策を問う

質問

一連の競売入札妨害事件を総括して、市長はどのように受け止めているのか。

答弁

第一感として、まさか裏切られたというのが実感でありました。

自分自身も含め、関係職員の懲戒処分をしましたが、市民の皆様方をはじめ関係者の皆様には、申し訳ない気持ちでいっぱいであります。

もっとも大事なことは、事件を教訓として二度とこのような事件が起こらない市役所づくりをしていくかであります。職員の資質向上はもとより入札制度の見直し、組織的に不祥事を監視するシステムの構築に取り組んでおります。

残念ながら今回の事件により、これまで積み重ねてきた信頼は大きく失われました。

一から出直しであり、市民の皆様方への信頼回復に向けて、私自身が信

じる道を職員と一丸となつて邁進してまいります。



質問

再発防止策を含めた市民への信頼回復に向けた取り組みについて。

答弁

不祥事再発防止策について、岩出市不祥事再発防止委員会報告書に基づき取り組み。

①職員の再就職した場合の岩出市への営業活動等の自粛。

②職場ミーティングや、

報告、連絡、相談の徹底による不祥事の起こらない環境づくり。

③不祥事防止チェックシートによる取り組み。

④倫理原則カードによる意識の徹底。

⑤住民の要望に対する対応要綱の制定。

⑥岩出市職員倫理規定を制定。

⑦岩出市職員倫理に関する行動指針を策定。

⑧ビデオによる公務員倫理研修。

⑨公正取引委員会による研修。

⑩全国市町村国際文化研究所による研修。

⑪コンプライアンス研修。

このような取り組みにより職員が常に高い公務員倫理意識を持ち続け、不祥事の再発防止に努め市民の皆様方の信頼回復に努めてまいります。

入札制度の見直しについて取り組みは平成22年10月1日適用開始。

- ①現場説明会の原則廃止。
- ②予定価格の事前公表。
- ③談合等に関わった場合の賠償金の徴収。
- ④条件付き一般競争入札の対象範囲の拡大。

これらの取り組みは、これで終わりではなく、今後も引き続き職員の意識の維持向上と、入札制度の改善に努め、地道に一からの出直しという言葉を胸に刻み、市民の皆様方に親切丁寧な対応に努め、一つ一つ信頼を取り戻してまいります。

活力あふれるまち ふれあいのまち



- 1 市民全体の奉仕者であることを自覚し常に公正に職務に取り組みます
- 2 情報の取り扱いに万全の注意を払います
- 3 職務に関して疑惑や不信を招くような行為はしません
- 4 自らの職務や地位を私的利益のために行使しません
- 5 職務外も公務員であることを自覚して行動します

倫理原則カード

入札妨害・ワイロ事件 長年のウミ・冰山の一角!!



尾和 弘一 議員

質問

公平・透明
不正行為の排除

抜本的に入札改革を実行し日本一公平で透明性のあるものにすべきである。
「袖の下」やワイロを無くし長年のウミを出し切るべきである。
①副課長の事件判決はどうなったのか。
②新しく導入した入札件数は何件あるのか。

今後の対策として

③政策入札への転換をすべきである。
④身体障がい者の雇用率は達成しているのか。
⑤最賃・労基法・安全衛生法等を守っているのか。
⑥国際法・条約を評価に入れるべきである。
⑦公益通報者保護法に従い窓口の創設を。
⑧不正を事前に通報した業者に賠償金減免を。

答弁

①業者と接点も多くなり、設計

金額を漏らしその見返りとして賄賂を受け、懲役2年執行猶予4年、30万円の罰金である。
②新制度、条件付一般競争入札は1件であり、他は従来通り指名競争入札が35件である。
③競争性の確保、透明性の向上、不正行為の防止等を掲げて新たな入札制度を導入している。
④地域雇用の安定化や振興など多様な要請がある。
⑤法律に違反しない限り原則的には民民の中での問題である。
⑥大きい企業のほうがより整備しやすいという部分もあり慎重に対応したい。
⑦総務課で受けている。職員は常にその窓口であり幹部職員に内部告発をしても同じように処理される。
⑧現時点では減額制度は考えていない。



質問

画像など大容量の書籍が流通し従来の図書館の役割が変化する。読書端末の普及で保管・返品等においても期待される。紙の書籍から電子書籍に急速に拡大すると考えるが図書館での対応はどうされるのか。

答弁

全国的な取り組みは極わずかです。今後システム著作権等の問題もあり検討する課題が山積している。現時点では電子書籍の導入は考えていません。

質問

根来山内で車中から体を触るチカン行為が発生した。昨年もあり、今回で二件目。安全安心への取り組みとして街路灯を設置しもっと明るくしてほしい。二次被害者対策も具体的にすべきである。

答弁

事件の発生は聞いています。青色パトロールの強化をしており、街路灯の照明設置の必要性はないと考える。犯罪被害者の方への対策はやっていない。

他に

①公共下水道接続と

汲み取り料金について基準単価を決めるべきである。

②箕面市のように岩出市名簿奨励条例の制定をすべきであると質問しました。



玉田 隆紀 議員
(公明党議員団)

安全対策と 地域振興を！

質問

安全対策について総合保健福祉センター西側に、農免道路と粉河加太線を結ぶ、新道路安上湯窪線が完成しましたが、粉河加太線側の交差点の信号機が、時差信号になっており、うぐいす台から南に下る方が、時差信号と知らない場合見通しの悪いカーブになっており、事故発生要因になる危険性がある事から右折専用信号機の設置について。

要望する

答弁

市道安上湯窪線、粉河加太線から、総合保健福祉センター方面への交差点について、右折帯は設置されていますが、右折信号機対応はなく、時差信号機対応となっています。

岩出警察署に問い合わせたところ、設置時に矢印式の信号機の設置を、



行わなかった理由として、右折帯が短く矢印信号作動中に、右折車が中央線を越えて右折帯に入ってくるおそれがある事から、今のところ矢印式信号機に改良する考えはないとの事でした。

市道安上中島線の供用に伴い、交通量が変わってくれば見直しする事も視野に入れているとの事です。矢印式信号機の設置を警察に要望してまいります。

質問

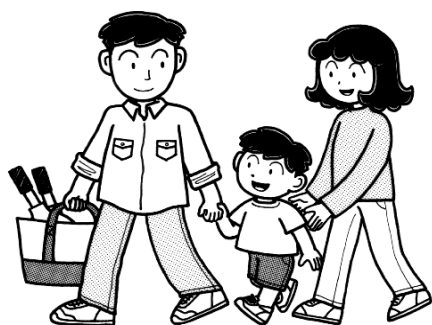
地域振興と子育て支援のために優待制度を導入し、買い物や施設などを利用する際に、料金割引や特典を受けられるサービスがあり、県では家族ふれあい優待制度があります。岩出市においても特色を生かし、地元商店の活性化のために、市独自の優待制度「プレミアムサポート」支援の考えについて。

県制度の周知

答弁

「プレミアムサポート」事業は地域社会が一体となつて、子育て家庭を応援し、子供を産み育てやすい、環境づくりを進めるもので、地域振興の面においては、地域振興券と同様、地元経済の活性化を行う施策の1つと考えます。

現在、県では子育て支援の優待事業として平成



18年度から協賛店舗での割引や、特典等の優待サービスが受けられる、家族ふれあい優待制度が実施されており、平成22年12月現在、県内658店舗が協賛し、岩出市内では36店舗で、サービスを受ける事ができます。

岩出市独自の制度創設は、県と市の協賛店舗が混在するなど、利用者側に混乱を招くことが予想されますので、県制度の周知と市内協賛店舗拡充に努めてまいります。

ごみ減量化と 有料化について!



松下 元 議員
(民主いわで)

質問

ごみ処理の現状と減量化の必要性について。

答弁

市が処理を行なっているごみの総量は、

平成19年度 20,032トン
平成20年度 21,042トン
平成21年度 20,421トン

で推移している。市民生活から出される可燃ごみについて、3年間で1%増加、事業系については、平成19年度は手数料を1kg 5円から10円に見直したことなどにより減量効果が働き、約10%減量した。収集及び処理費用について平成21年度決算で約6億5,100万円、1トン当たり3万1,000円となっている。

ごみの減量化はクリーンセンターの施設、設備の長寿化が図られ、収集作業の効率化、集積場所

質問

ごみ減量化への取り組みについて。

答弁

ごみ減量化のため広報やごみ分別冊子を配布し、生ごみの水切りやごみ分別の徹底、ノーレジ袋、マイバッグ持参、3R、いわゆる、ごみの減量、再利用、再資源化を実行するよう周知啓発を行っている。

また、生ごみ処理容器、電動式生ごみ処理機購入に対して補助金を交付し、ごみの堆肥化、減量化に努めている。

質問

県内の有料化の状況について。

答弁

廃棄物処理法に基づき基本的な方針や和歌山県廃棄物処理計画により国や県から有料化推進の方針が示され、ごみ処理事業の適正な運営を図るため、30市町村のうち25市町村が有料化を実施済みで、有料化率は約83・3%となっている。9市では岩出市、海南市、和歌山市以外の6市が既に実施済みである。

質問

ごみの有料化に対する考えについて。

答弁

クリーンセンターの施設・設備の長寿命化・安定的運営、市民の負担の公平性、有



料化によるごみ減量を通じたごみ処理・環境問題への市民の関心の高まりの期待、他市町村からの持ち込みの防止、さらには、国、県の有料化推進の方針、また、環境をもる審議会からも研究、検討が必要との意見もあり、こうした状況を勘案して、市民に負担を求める結果となるが、未来の岩出市の快適な環境への投資として、ごみの有料化を行っていきたいと考えている。





増田 浩二 議員
(日本共産党議員団)

公民館

機の改善を

キヤスター付きの移動しやすい机へ



岩出地区公民館

質問

①各地区公民館において、机が老朽化して破損状態や傷んでいる状況のものが多々見られます。教育委員会としてこのような状況をどう見ているのか。計画性をもち改善すべきものではないか。他の自治体では、キヤスター付きの移動しやすい机などに整備されてきている。

答弁

①キヤスター付きの机については、収納スペースの関係上購入する計画はありません。

②使用料の減免対象団体は、岩出市内に在住、勤務している方で、2／3以上で構成していることとなっています。ポスター・チラシは市内であればいいですが、市外でポスター・チラシを配布するのはどうかという内容であったかと思えます。

公民館利用者の利便性を考えていない対応と思います。

質問

社会福祉協議会で県の生活福祉資金制度がありますが、破産した人は利用できないという制約があります。海南市で実施しているような災害や疾病、一時的な生活困窮者などに、市独自の生活資金貸付制度の実施を。

市独自の生活福祉資金制度を

答弁

生活福祉資金は低所得者などに対し、経済的自立や安定した生活を送る事を目的としています。県以上の緩やかな貸し付けは自立意欲への影響、公平性、財源の問題から市独自策については、実施すべきでないと考えています。

経済活性化策として取り組まれている「住宅リフォーム制度」実施を

質問

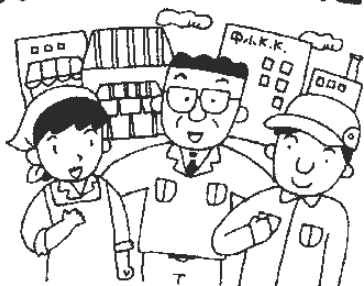
岩出市より1万2千人ほど多い

答弁

住宅リフォーム自体は、個人の家の改良であり、個人の資産の付加価値を上げるということと考えていません。地域活性化ということですが、住宅を所有している特定の方、リフォームに関わる特定の業種という観点からも実施する考えはありません。

宮古市で、地域の活性化、経済対策としての「住宅リフォーム制度」。受注業者は200。経済効果は16億円、飲食産業やサービス業まで波及効果が広がっています。遠野市では、子育て支援の考えのもと実施されています。個人資産補助の考えを見直し、経済活性化策として「住宅リフォーム制度」の調査と制度実施を。

地域経済の活性化を



那賀老人福祉施設 「白水園」を民営化?!



市来 利恵 議員
(日本共産党議員団)



「白水園」

那賀老人福祉施設「白水園」は、昭和27年に事業が開始されています。

現在は、岩出市と紀の川市の2市で運営しています。

市長は、行政報告で「白水園」は老朽化が顕著となり、新たな建設は民設民営化との報告をされました。

質問

①なぜ公立での建設運営を行わないのか。

②養護老人ホームについての考えは。

③福祉現場の労働者が、低賃金・過重労働のため定着しにくいなど社会問題となっています。職員の賃金や労働条件が悪化するおそれもある。今後の職員の身分保証について。

答弁

①財政面の問題がある。建て替えには膨大な資金が必要。運営に要する経費は、両市で分担金を負担しており、民営化することです。

市の負担が削減できる。

②老人福祉法の規定において入院加療を要せず、環境上・経済上の理由により、在宅生活が困難であると認められる者、介護が必要な状況でない者が入所できる施設です。

民営化後も養護老人ホームは存続していく。

③労働条件、職員の処遇・身分保証について、本人の希望を尊重し、できる限り職員にとって不利益が生じないよう配慮するという方針を定めています。

質問

福祉現場で財政を理由に民営化はあつてはならないと考える。

長年にわたって地域に密着し、多くの方々が生涯安心して生活が送れる「白水園」を民営化するのではなく、公的責任を堅持し、新たな建設さらに充実発展させていくことが岩出市・紀の川市のとるべき態度ではないのか。

答弁

市長

民設民営化、これはぜひ進めていっていただきたい。主に財政面・サービス面、また、他施設への運営主体の状況を総合的に判断して、民営化が適当であると思います。

環太平洋経済連携協定TPPについて

質問

政府は、環太平洋TPPについて、関係国との協議を開始すると閣議決定しました。TPPは、関税を原則撤廃し農産物の輸入完全自由化を進めるもので、日本の農業と地域経済に深刻な打撃を与えると考えます。

市長の見解は。

答弁

市長

TPP参加による影響について、メリット・デメリット両方が存在すること、今後国において総合的に判断されるものと考えている。





田畑 昭二 議員
(公明党議員団)

うつ病対策の治療として、 認知行動療法が見直されている!

うつ病対策について。

質 問

・うつ病対策として認知行動療法が見直されているが、職員に対しメンタルヘルス研修を行い、正しい知識を持つ機会を設けては。

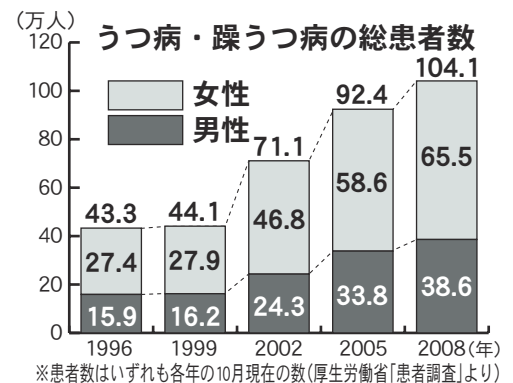
答 弁

認知行動療法は情緒の安定や行動の修正を効果的に行うことを目的に、考え方が変わることによって、情緒や行動をコントロールすることができると療法的で、平成22年4月から健康保険適用が可能となった。

今後、市職員のうつ病対策として、更にうつ病を正しく理解し、引き続き風通しのよい職場環境づくりとメンタルヘルス研修を行っていく。

一般ごみの有料化について。

・昨年6月議会にごみの有料化の



質 問

・質問に対し、検討すると答弁があったが、その後の取り組みは、有料化することの効果は、市民の負担はどの程度になるか。

答 弁

一般廃棄物の排出抑制や再生利用の推進、排出量に応じた負担の公平化及び住民の意識改革を進めるための国・県の方針を再確認し、既に有料化を実施している市の実態等について情報収集を行い、有料化の効果や分別収集での問題点、市民負担等につ

質 問

・法律では、浄化槽の使用に①保守点検②清掃③法定検査が義務づけられているが、この管理について広く市民に周知されているか。

浄化槽の管理について。

いて検証し、できるだけ早い時期に有料化を進める方向で検討を行っている。また、有料化による効果は、市民の費用負担の公平性が確保される。住民意識改革につながりごみ発生の抑制につながる。ごみの処理量が大幅に減量化されることになり、施設設備等の長寿命化、安定的運営が図られ、費用負担の削減につながる。また、収集業務の効率化や地球温暖化防止につながる温室効果ガス削減なども期待できる。一世帯当たり、平均的な推計として、年間4,000円程度と考えている。

答 弁

また、正しい管理のための今後の対応は。

平成22年4月から浄化槽法に関する一部の事務が県から権限移譲され、水質法定検査機関の社団法人和歌山県水質保全センターと連携し、様々な方法で周知を行っている。今後、更に効果的な周知法で徹底して行く。

※他にボランティア活動の推進についても質問しました。



生徒の通学路の安全確保

岩出第二中学校正門前

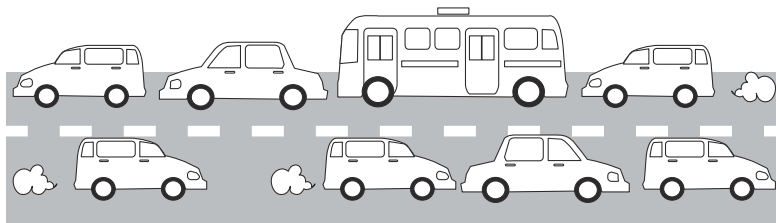
市道野上野6号線の整備について



福山 晴美 議員
(岩出クラブ)

和歌山県内のほとんどの市町村で人口が減少する中、岩出市は市制施行5年目を迎えた今も、人口が増え続けている状況である。

それに伴い交通量も年々増加しており、道路整備は国・県・市で実施しているが、市内の交通安全対策が喫緊の課題であると考える。



質問

岩出市内の過去3年間の交通事故件数と、小・中学校の児童生徒の事故件数は。

答弁

教育長

●平成19年度	422件
小学生	14件
中学生	8件
●平成20年度	412件
小学生	17件
中学生	20件
●平成21年度	457件
小学生	16件
中学生	14件

質問

小・中学校の交通安全の取り組みについて。

答弁

教育長

- ・各学期の初めと終りに交通安全についての話を集会で行う。
- ・各学級でプリントを活用して指導を行う。
- ・毎月1日、15日に登下校指導の中で交通安全

質問

岩出第二中学校正門前市道野上野6号線の整備について。

答弁

事業部長

「平成23年度に予算計上を考えている。」

住民が多いことから、朝夕の通勤、通学の時間帯には自動車や自転車の通行が多く、生徒もたくさん利用しているのは認識している。

歩道がないので、年に数回接触事故があり大変危険であると、生徒の登校時に見守っていただいている方達から歩道の設置を要望されている。

歩行者の安全確保の観点から歩道を設置する。



岩出第二中学校正門前市道野上野6号線

各常任委員会活動報告

総務文教常任委員会

委員長 山下久美子
副委員長 尾和 弘一
委員 三栖慎太郎
委員 福山 晴美
委員 市来 利恵
委員 宮本 要代

平成22年12月5日、

第41回一日 防火デー

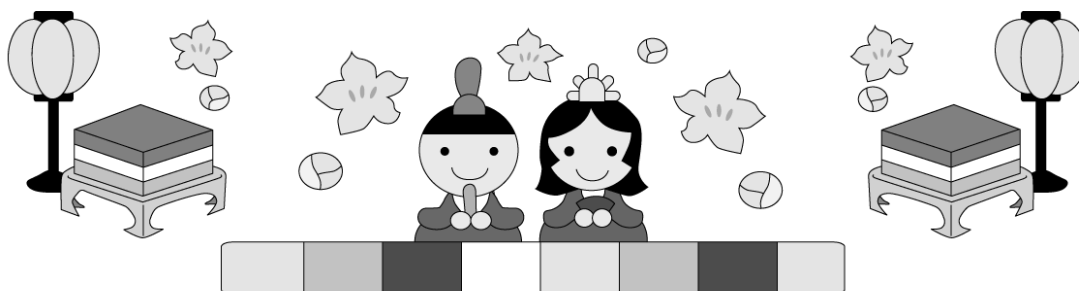


が行なわれ、消防団各部
隊の視閲、機械器具等の
点検を実施しました。



各消防屯所とも整理整頓が出来ており、消防団員の方達の気配りを感じ、緊急事態が発生しても適切に対処出来る状態にあると思いました。また、年末には夜回りをして市民の安全を守って下さっています。

実際に防火訓練をしました。



厚生常任委員会

委員長	土岐 健二
副委員長	井神 慶久
委員	増田 浩二
委員	上野 耕志
委員	山本 重信
委員	田畑 昭二



クリーンセンターの環境対策

○11月25日と12月14日、解体現場の進捗と新クリーンセンターの稼動状況の視察を行いました。
●旧クリーンセンターの

解体撤去工事が7月から始まり、11月末時点で55%の進捗。

11月末現在管理区域内の焼却炉、バグフィルタ、ガス冷却等の除染及び解体完了、工場棟建築物の解体に向け養生足場の組立を行っている。

平成23年1月末
現在進捗率は85%

那賀老人福祉施設白水園民営化へ

○11月25日岩出市及び紀の川市で設置している一部事務組合が運営している那賀老人福祉施設白水園の建設について、両市及び組合職員による検討結果の報告を受ける。

●報告内容。

- ①手法 民設民営。
- ②時期 平成28年3月までに目途。
- ③職員処遇 不利益が生じないよう配慮。



- ④解散手続き。
- ⑤公募条件 県内に本部を置く社会福祉法人など。

- ⑥建設予定地 紀の川市粉河地区。

- ⑦スケジュール。

- ⑧民営化の課題。

「報告書で方針に基づき、2市で慎重に協議を進めながら平成28年3月民営化を目途に事務を進める。」

民生・児童委員九十名決まる。

○12月13日委員会で民生委員・児童委員の改選の報告を受ける。

●人口増加を背景に、定数が86名から4名増員され、90名に。

- 男性49名、女性41名。
- 平均年齢は65歳。
- 最年長は77歳。
- 最年少は49歳。



建設常任委員会

委員長 田村 耕一
副委員長 玉田 隆紀
委員 田中 宏幸
委員 吉本 勸曜
委員 松下 元

12月の第4回定例会において委員会に付託されました議案5件について、12月14日に慎重に審査を行いました。

所管の議案は全会一致ですべて可決し、市道路線も全線認定となりました。これらの議案審査に先立ち、市道路線の認定のための現地視察を行いました。



岩出市は、都市化が進み毎定例会ごとに市道路線認定の案件があります。住民の皆様が、安心して生活できるように、道路だけでなく住環境として適切に対応しているか委員会として現地を訪れきめ細かくチェックしています。

視察の際には、大勢で訪れますので周辺の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



決算審査特別委員会報告

9月29日から10月28日までの間で、決算審査特別委員会を10回開催し、平成21年度決算関係議案の審査を行いました。

委員会での執行部からの主な報告と、委員からの発言のあった主な意見は、次のとおりです。

【執行部からの報告】

平成21年度決算については、歳入確保の対応としてコンビニ収納、差し押さえ等の法的執行ほか、様々な手段を講じて収入増につなげているところで、今後も引き続き収入増に努め、後年度負担軽減策として、できるだけ交付税措置のある地方債発行で考えている。歳出面では、特に制度改正が非常に多い社会保障関係費が年々増加しており、民生費、衛生費を合わせ

て、決算全体の40%以上を占めている状況である。現状を見ると後年度には非常に厳しい状況になってくると予測しており、決算審査特別委員、監査委員からも指摘のあった、補助金、助成金の交付については、それぞれの事業効果等を十分精査する中で引き続き見直し、検討していく。

【委員会での意見】

- ①財源の確保に努めること。
- ②補助金、助成金の支出の適正化に努めること。
- ③継続契約の推進でコストを下げる方法を検討すること。
- ④随意契約の特性を生かす方法を検討すること。
- ⑤各部局において、そうへいちゃんのPRに努めること。

いわで ふおとぎゃらりい



3/ **2**日(水)、**7**日(月)、**22**日(火)、**24**日(木)、**28**日(月)、**29**日(火)



編
集
後
記

暑さ寒さも彼岸までと申しますが、まだまだ寒い日が続いております。皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、早いもので岩出市議選から2年が経過致しました。2月21日には、臨時議会が開催され、新たに所属する常任委員会などが決定されました。

現在の広報メンバーでの編集もこの第19号をもって終わりとなります。

次号から、新たなメン
バーでの編集となります
が、今後も、市民の皆様
に親しんで読んで頂ける
よう議員一同、努力を重
ねてまいりますのでよろ
しくお願い致します。

■議会広報常任委員会

委員	副委員長	委員
三栖慎太郎	市來利恵	松下元

宮本 土岐 山本 吾本 福山
要代 健二 重信 勸曜 晴美